大人　きたえほめる

「校訓とともに」

じぶんから　みんなと　いっしょうけんめい

子ども　やればのびる

長崎市立外海黒崎小学校
令和４年度学校だより
令和４年７月２０日(水)
校長　溝　川　　浩

～1学期終了！　そして自ら伸びる夏休みになりますように～

令和４年度の１学期が本日をもって無事終了いたしました。子供たちには「やればのびる」を言い続け、わたしたち教職員一同、きたえほめる指導を行ってまいりました。これまでの３か月半の期間、コロナ禍、大雨、台風に見舞われながらも、予定通りの授業内容を授業で終了させることができましたが、お子さん一人一人の理解定着については個人差があります。夏休みを活かし復習を中心とした家庭学習ほか実りある暮らしについて、どうぞよろしくお願いいたします。

本日の終業式では、子供たちに「夏休み　わたしをのばす　３つの『ふ』」について話をいたしました。裏面にその内容を載せておりますので、ご自宅のどこかに掲示していただき、お子さんのよりよい暮らしに役立てていただけたら幸いです。

また、夏休み初旬には、面談を実施いたします。限られた時間ではありますが、担任と直接話をしていただき、お子さんや子育てについて共通理解ができますよう有意義な時間にしてください。

２学期には、９月運動会、10月小体会、11月小音会と行事が盛りだくさんです。２学期を実りあるものにするためにも、しっかりと成長する夏休みにしていただくようお願いいたします。

～子供と一緒の夏休みを充実させるコツ～

夏休みをいかが予定されていますか。コロナ禍の中、計画が立てづらい状況です。子供がずっと家にいる夏休みはたいへんという保護者の声をよく耳にします。今回は、夏休みを充実させる過ごし方を紹介します。

★子供の夏休みは保護者の繁忙期

夏休みがたいへんと感じる保護者の方からよく聞く言葉は、「毎日のお昼ごはんを考えるのが面倒　宿題をやらせるのが大変　外に行けば暑い　家事がはかどらない　自分時間はまったくない」などなど。たしかに、自分だけだったら手を抜けるお昼ごはんも、子供がいると何かしら考えねばなりません。外出するのも手ですが、お金もかかるし炎天下では暑すぎます。どう過ごすのが子供にとっても親にとってもいいのでしょうか。

★「どこかへ連れて行ってあげなくては」という思いがプレッシャーに

「円満な夏休み」というと、保護者はついつい子供中心の過ごし方を思い浮かべてしまいがちです。子供の口から出る「〇〇に行きたい」「〇〇をしたい」をかなえてあげることが、円満な夏休みにつながると思えてくるからです。でも、「どこかへ連れて行ってあげなくては」と思うあまり予定を詰めこんで、結局は人混みと暑さにもまれイライラしてばかりいたら、親の精神衛生上よくありません。子供だって、親に叱られてばかりいたら、楽しさ半減です。「せっかくの夏休み、普段できないことをさせてあげたい」というのが親心。でも、普段できないこと＝お出かけ、だけではありません。

★せっかくの夏休み　おすすめはこれ！

私がおすすめする夏休みの過ごし方は、「普段できないような〝家事〟を体験させてあげること」です。つまりは、「お手伝い」。「いやいや、うちの子、お手伝いなんてしてくれない」と思う方もいるでしょう。たしかに、「夏休みくらい、〇〇を手伝ってよ」と言ってしまうと、子供はきっと「ヤダ」と言うのがオチ。だからといって、「家事が嫌い」なのではありません。子供が嫌がるのは、「命令されるから」「単純作業ばかり頼まれるから」。「楽しむ」という要素が欠けているからです。

新たな発見があるもの　チャレンジングなもの　理科の実験的なもの　一緒にできるものであれば、お子さんも喜んでやりたいと言ってくれるはずです。

★一番のおすすめは「料理」です。

スケールで材料を計る　お米を研ぐ　素手で材料を混ぜる　泡だて器でかき混ぜる　ピーラーでにんじんの皮をむく　これらは、子供が大好きなプロセスです。

毎日のお昼も、子供に「お腹すいた～」と駄々をこねられながら作ると、親はイライラしてしまいがち。でも、毎日十一時からお子さんと一緒に準備をはじめれば、途中のつまみ食いがあったりして、十二時のランチタイムまで穏やかに過ごすことができます。

★お手伝いがもたらす３つの心理的な効果

①子供の自己効力感がアップする：子供の自己効力感アップのポイントは、達成経験。料理のプロセスは、とくに達成経験が得られやすいので、その点からもおすすめです。

②ほめて伸ばす子育てを体感できる：普段から、叱るよりもほめて育てたいと思っているけれど、なかなかほめられない、ほめるところがないと思っている方も多いようです。お手伝いをしてもらうと、自然とほめる機会が増えるので、「ほめて伸ばす子育て」を自然な形で体感できるようになります。

③親自身の満足度もアップする：子供を交えてお料理やお掃除をすると、たしかに時間はかかります。しかし、ペースは遅いながらも、なんとか家事が進むので、夏休みにありがちな「家事の滞り」を減らすことができます。また、「子供にとっていい勉強になった」「いい経験をさせてあげられた」と親としての満足度もアップします。のちに学力アップするうえでも、お子さんの自発性、創造力を育てる効果的な教育法でもあります。